

学校評価 令和4年度

学校法人 高倉幼稚園

学校評価

高倉幼稚園

1、園の教育目標

幼児の心身ともに健全な成長の為に、次の指導目標を上げ、これらを習得できるよう教育環境を整える

- 日常の生活習慣のしつけ
- 正しい社会人としての指導
- 基本的な生活態度を養う
- 思考力と想像力の芽生えを培う
- 強健な心身の発達育成

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

前年度まで取り組んできた生活、教育面での目標をさらに充実させることが目標である。まだコロナ禍が収束しないが、教育面、行動面は少し緩和された。その中で感染対策を講じながら今年度はなるべくコロナ禍前の普通保育を行い、質の高い幼児教育を維持するよう努める。

- ①野菜栽培・食育 野菜や草花を植え水やり、栽培する事により、生長を観察し興味を持ち、感性を養う。また、栽培した野菜を収穫する喜びを知り、収穫した野菜を食べることにより好き嫌いをなくす。
食べ物の栄養や大切さを学ぶ。
- ②安全対策・安全教育 防犯、不審者対策。防火防災に努める。園内外で交通事故や連れ去り等に気を付けるよう指導。感染予防対策の徹底。
- ③体力づくり 体力をつけ、大きな怪我をしないよう努める。
毎日、簡単な体操を必ずする。柔軟体操、縄跳び等
- ④自主性を高める教育 自分でやりたいことを実現するために物事に粘り強く取り組む。
制作絵画等自分で作りたいもの描きたいものを考え、自己表現をする。
自由に活動する日を増やす。
問題に直面した時にすぐに諦めずやり遂げようとする力をつける。
(非認知能力)
- ⑤行事・教育に対しての新しい取り組み
コロナ禍の影響や、社会情勢の変化や、新しい教育要領にそくした
行事・教育活動への取り組み
- ⑥設備面の充実

3、学校評価目標の取り組み状況

目標	取 組 状 況
① 野菜栽培・食育	<p>5月中旬 年長 菜園で夏野菜の苗植え ミニトマト・きゅうり・ピーマン・なす 年中 さつまいも苗の植え付け 年少 園庭のプランターで夏野菜の苗植え</p> <p>5月～7月 苗植え後、全学年で水やりと観察 7月 野菜を収穫して持って帰り、きゅうりを幼稚園で食べた。 その他の野菜は皆で分けた。 10月 年中 芋掘り 幼稚園で一切れずつ食べた。 11月 年中 チューリップの球根植え</p> <p>○教材を利用して食の大切さを学んだ ○1月 歯科講習会(年中) 歯の大切さを学んだ。</p>
② 安全対策・安全教育	<p>5月、9月、12月 避難訓練 防災頭巾の着用 担任は避難用リュックを持って避難</p> <p>○手洗い・消毒の徹底 ○マスク自由(園庭や体操時は外す) 集会やバス乗車時は着用 ○食事はパーテーションで区切って食べた ○行事の時、大型絵本やDVDで防犯防災の話をした ○園庭で遊ぶ時、学年別に分散にした 10月 消防署見学(年長) スクールバスで1クラスずつ</p>
③ 体力づくり	<p>○家庭内で過ごすことが多かったため、毎日必ず柔軟体操をする 体幹を鍛える ○晴れの日には外遊び・縄跳び・ボール遊びをする ○冬期はかけっこをする</p>
④ 自主性を高める教育活動	<p>○お楽しみ会 非認知能力を高める為、自分たちで考えたゲームを作って 楽しんだ ○フリーデー 学期ごとに最低1回は計画する 子ども達同士で話し合い、自分達で考えて好きな活動を行 うように指導 (外遊び、制作、お絵描き、ゲーム、折り紙等) ○お買い物ごっこ 年長は好きなお店屋さんになって、4～5個売り物を工夫して作り、年少、年中、他の組に売る遊びをした。</p>

<p>⑤ 行事・教育に対しての新しい取り組み</p>	<p>○遠足実施(年中・年長) 現地で他の団体と重なり密になった場合は園に帰ってから昼食をとった。</p> <p>○1日遠足(年長) 午前 制作とビッグバンで遊ぶ 午後 帰園後夕食、マジックショー、花火</p> <p>○運動会 各学年別に分散して実施 保護者の見学も園児1名につき2名に制限</p> <p>○発表会 1日目 年少・年中 2部制 保護者の見学も1名に制限 2日目 年長 3クラス 保護者見学1名 オペレッタ、遊戯、合奏(合唱はマスクを着けて1曲のみ) 鍵盤ハーモニカの代わりにシンセサイザー、エコー、 Hammond等を使用</p> <p>・感染リスクが高い教育活動の制限 歌：マスクをしたまま少しだけ指導 鍵盤ハーモニカ：紙の鍵盤で音階の練習 パーテーションパネルを立てて練習、 毎回必ず消毒</p>
<p>⑥ 設備面の充実</p>	<p>○4月 保護者(欠席遅刻早退)連絡、お知らせ、延長預かり保育の予約、 スクールバスの位置情報等の配信システム導入</p> <p>○8月 新しい遊具を設置</p>

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

目標	自己評価	学校関係者
① 野菜栽培・食育	A	A
② 安全教育・安全対策	B	A
③ 体力づくり	B	A
④ 自主性を高める教育	B	A
⑤ 行事・教育に対する取り組み	A	A
⑥ 設備面の充実	A	A
職員の意見まとめ		
<p>① 野菜栽培・食育：年少組も園庭のプランターだけでなく菜園に行きたい。 食育パネルの利用は子ども達が理解しやすく、指導もしやすい。 給食参観があれば食事の様子を懇談時に伝えやすい。 楽しく栽培ができ、野菜に興味を持ってくれた。</p> <p>② 安全教育・安全対策：感染予防対策がきちりできていた。 バスの置き去り事故がないよう防止対策を徹底し、全職員で再確認した。 バスの乗車人数が多いときは、乗車する職員を2人にしてほしい。 安全な遊び方を確認することで、大きなケガが少なかった。 手指消毒の習慣がついた。</p> <p>③ 体力づくり：外遊びの時間を毎日つくることできなかった。 木曜日の体操は子ども達がとても楽しんでいる様子が見られた。 縄跳び、ボール遊びをたくさん取り入れることができた。 毎日の柔軟体操で身体が柔らかくなった。</p> <p>④ 自主性を高める教育：自由画、自由制作に取り組めた。 自主性を高める保育は、時間と手間がかかるが結果として見えにくいので、 過程をアプリ配信などで保護者の方に伝えたい。 素材が園にあれば嬉しい。 消極的な子どもへの声掛け、アドバイスを知りたい。</p> <p>⑤ 行事・教育に対して：子どもに負担にならないようにと考えながら取り組めた。 の取り組み お店屋さんごっこの計画は大変だったが子ども達は楽しんでいた。</p> <p>⑥ 設備面への充実：アプリが導入され、園児の欠席・遅刻やバスの有無が把握しやすくなった。 設備が遊具の定期的な点検、不備があれば迅速に対応し、安全に過ごせた。</p>		

学校関係者の意見まとめ

- ① 野菜栽培・食育：野菜の収穫を楽しみにしていた。
野菜収穫、芋ほり、球根植え等良い経験になったので継続してほしい。
菜園での水やりは日々生長していく夏野菜に感動している姿が見られた。
- ② 安全教育・安全対策：防災に関して、子どもが理解している。
地震・津波のことが分かっていて驚いた。
バスの置き去り事故がないよう防止対策を徹底していた。
登園・降園の時間に必ず門立ちの先生がいて良かった。
園前の道路に車が通過して怖いときがあった。
- ③ 体力づくり：縄跳びが上手になった。
外に出る時間が少なかった為、十分な体力づくりができなかった。
- ④ 自主性を高める教育：フリーデーは良い取り組み。絵を描くのが楽しそう。
お店屋さんごっこやフリーデーのおかげで自分で考えたり工夫する力が身に付いてきている。
- ⑤ 行事・教育に対して：コロナ禍、いろいろな考えの保護者がいる中、可能な限りの中で行事の取り組み
を工夫して行ってくれたことに感謝している。
子ども達のみので行事を写真で配信してほしい。
発表会のDVDを販売してほしい。発表会の劇を再開してほしい。
年少組の遠足があれば嬉しい。
買い物ごっこが楽しかった。
- ⑥ 設備面の充実：アプリの利用で欠席連絡が楽になった。
写真や動画で保育内容を知ることができ、子どもとの会話が弾む。
新しい遊具を楽しんでいる。

5、今後取り組むべき課題

- ・音楽強化の保育を再開
- ・コロナ禍で中止になっていた行事の再開・見直し
- ・コロナ禍で行った行事や習慣で良かったことは継続
- ・体力づくりのレベルアップ
- ・食育にもっと力を入れる
- ・独創性と協調性の両立